

「いいね！」を生み出す技術

日本科学未来館 科学コミュニケーター

長谷川麻子先生 落合裕美先生

【締め切り】講義当日（9月16日）

【提出方法】当日に忘れずに持参して下さい。

【課題内容】

（1）講義当日までに、未来館を見学いただき、添付のワークシートを完成させてください。（日本科学未来館_worksheet.pdfのこと。）

（2）ワークシート以外に、（ご自分の）研究について伝える、という観点からお気づきのことがあれば、メモしてきてください。どんなことでも大歓迎です。

科学コミュニケーションとメディアリレーション：天文学篇

国立天文台 天文情報センター 広報室長・助教

生田ちさと先生

【締め切り】講義当日（9月18日）

【提出方法】当日に忘れずに持参して下さい。

【課題内容】

（1）UEC パスポートプログラムを受講された方・受講されている方は「2年次に行った探求実験・演習」もしくは「3年次の課題自由研究」で行った内容や実験・研究の結果を紹介するためのフライヤーを制作してください。受講されていない方は、ご自身で興味を持っている科学・技術について、テーマを一つに絞り、その内容や将来展望について紹介するフライヤーを制作してください。サイズはA4 両面。日本国内の科学館・博物館などのパンフレット・カタログスタンドに置き、来場者が自由に取っていくことができるという状況を考えます。

（2）下記のウェブサイトのうち、二つを選び、現在のウェブサイトについて評価してください。次に、その評価に基づき、サイトリニューアルのための提案書を作成してください。このとき、サイトの訪問者として「記事のネタを集めているジャーナリスト」と「参加できるイベントや見学できるかどうかの情報を集めている中学生」を仮定します。

欧州宇宙機関 ESA <http://www.esa.int>

米国航空宇宙局 NASA <http://www.nasa.gov>

ヨーロッパ南天天文台 ESO <http://www.eso.org/public/>

宇宙航空研究開発機構 JAXA <http://www.jaxa.jp>

国立天文台 NAOJ <http://www.nao.ac.jp>

「^{みせ}魅惑る ～科学イベントの作り方～」

原口るみ先生（NPO 法人ガリレオ工房・国際基督教大学）

【締め切り】9月10日

【提出方法】A4の紙にプリントアウトしてD103へ提出。もし人が居なかったら、物理事務室まで提出。時間は10時～17時。

【課題内容】

30分間の科学イベントの企画書（A4 1枚）を書いて講義の1週間前までに提出のこと。

企画書には、「イベントタイトル」「イベント概要（2～3行）」「イベント種別（下記参照）」「30分間のタイムスケジュール」「実施する実験の簡単な説明」「準備する物品のリスト（備品と持込に分けて）」「スタッフ数とそれぞれの役割」「費用の大まかな内訳」「安全上の注意点」を必ず含めること。

ただし、イベント実施の条件は下記の通り。

条件

- ・イベント種別は「実験ショー」「実験教室」「実験ブース」から選ぶこと
- ・テーマは「水」
- ・実施日は7月～8月の想定（夏休み期間）
- ・対象は小学校5、6年生30名
- ・時間は30分間
- ・会場は暗転可能な会議室
- ・使用可能な備品
 - 長机（60cm×180cm）たくさん
 - いす たくさん
 - 舞台（高さ20cm、2m×2m）
- プロジェクタとスクリーン
- ワイヤレスマイク（ピンマイク1波、ヘッドセット1波）
- 有線マイク
- 書画カメラ
- スピーカーとアンプ一式
- 延長ケーブル
- ブルーシート（2m×2m）10枚
- 養生テープ
- ガムテープ
- 実験トレイ 30
- バケツ 5
- ・予算は総額3万円以内
- ・最低1つ以上、参加者が手元で実際に体験できる実験を含めること

※ みなさんが提出した企画書をもとに、実際にイベントを企画する際に必要なこと、注意すべきことなどを話し合いたいと思います。